

熊野おとしより相談センターだより (熊野地域包括支援センター) もみじ号

～担当地域～

板橋2丁目(18番～21番、54番、55番) 大山金井町 大山東町(1番～16番、18番、26番、27番、29番)、熊野町、中丸町、幸町(1番～6番)、南町

～ほのぼのカフェ開催～ (認知症カフェ)

開催日時:第4木曜日(原則)13:30～15:30
場所:中丸町53-15ヒルトップススクエア3階集会所



ほのぼのカフェの様子

10月26日開催のカフェでは、勝又医院の先生に「認知症の理解と症状について」の講義をしていただきました。講義内容は次のとおりです。

- ① 認知症の受診について、重くなってからの受診が多いので、早めの相談が大切。
- ② 家族の手助けが必要である。
- ③ 地域で家族を支えていく。
- ④ 同じアルツハイマー型認知症でも、10年、20年と状態が

変わらぬ人もいることが分かってきた。

- ⑤ 認知症の理解に向けたツールの一つとして、こうしたカフェが有効である。
- ⑥ ご本人が望む社会生活とはどんなことか」等、地域のみならず考えていく必要がある。

先生は「気軽に相談してほしい」とおっしゃっていました。

認知症カフェとは?

板橋区では、国の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に基づき、認知症カフェの拡充を推進しています。

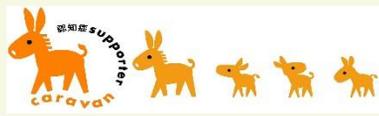
認知症の本人・家族・地域住民・専門職など、誰もが参加でき、交流を図るとともに、社会とつながることのできる場です。

本人や家族が安心して過ごすことができ、家族間の交流や、相談もできます。

認知症サポーターなどのボランティアが運営のお手伝いをしています。現在「ほのぼのカフェ」を含め区内では19か所運営されています。(29年8月現在)

【インフォメーション】
認知症サポーター養成講座をセンター職員が出張して行います。参加者には、オレンジリングをお渡ししています。ご希望の方は、お問い合わせください。

熊野おとしより相談センターでは
ホームページを開設しています。



地域の薬剤師さんにききました



認定薬剤師
成田美保先生

《中丸町の成田薬局、成田先生にお話を伺いました。》

Q・薬局の成り立ちを伺います。
A・主人がはじめたのがきっかけです。今は事務員1名と薬剤師が常時2〜3名で業務に当たっています。

Q・マイブームはなんですか？
A・患者さんと接することで、おいしく食べる事、眠れる事は幸せなんだなと思いました。子育てが一段落して、大学の仲間と食事を楽しんでいます。

Q・地域医療についてお考えを聞かせください。
A・中丸町は、出先でも住民の方が、気軽に声掛けしてくれて、あたたかい地域です。医療や、福祉、地域の目が行き届いているので協力・連携がうまくできていると思います。

Q・かかりつけ薬剤師制度について教えてください。
A・昨年4月の法改正で指名制が可能になりました。当局では、かかりつけ薬剤師1名につき5名

の患者さんが、登録しています。メリットとして、お薬をトータルで把握してもらえたり、飲み合わせや副作用、お薬の重複などの確認を受けられるので、安心できます。

中には、直接訪問して、服薬指導や、お薬の残薬整理、転送電話で24時間相談可能です。薬局では、使い針の回収等の管理を行っています。

Q・地域に対して取り組みたいことはありますか？
A・患者さんの、少ない時間帯を利用して、局内が地域の皆さんの、居場所になればいいと思います。

Q・最後に一言お願いします。
A・健康に関する相談ができる場所として、頼りにしてくれたりうれしいです。

職員紹介



介護支援専門員
谷内 いり江

仲町おとしより相談センターから、異動してきました。異動して、運動大好きでフットワークがいいところです。宝塚が大好きです。



主任介護支援専門員
小島 知美

練馬区から異動してきました。生粋の板橋区民です。健康作りには、スクワットを60回ほど毎日やっています。マイブームはおかゆです。

【インフォメーション 出前講座！】
熊野おとしより相談センターでは、介護保険や介護予防、消費者被害など、おとしよりに関する事について、出前講座を行っています。団体や事業所の皆様、ぜひお声かけください。

熊野おとしより相談センター窓口開設時間
月曜日～土曜日(日曜・祝日・年末年始は休み)
9:00～17:00

〒173-0026 板橋区中丸町27-11(中丸いこいの家内)
熊野おとしより相談センター(地域包括支援センター)
【電話 03-5926-6566】 【FAX 03-3973-3531】